

# 第 30 回 環境アセスメント動物調査手法 講演会

<主 催> 日本環境動物昆虫学会

<日 時> 2021 年 7 月 31 日 (土) 9:30~17:00

<場 所> 大阪府立大学 I-site なんば (大阪府浪速区敷津東 2-8-1 南海なんば第一ビル 難波・大国町近く)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインに変更となる場合があります。

<企画・運営> 日本環境動物昆虫学会生物保護とアセスメント手法研究部会※

※今井健介、上田昇平、加藤敦史、千々岩 哲、中上喜史、林 成多、平井規央 (部会長)、松野茂富  
八尋克郎、山崎一夫 (五十音順)

<内 容>

## 1. 絵解き検索 ヒメバチ科の亜科までの同定 (9:40~11:00)

小西 和彦 (愛媛大学)

ヒメバチ科は日本からは 1600 種以上が記録されており世界で約 25000 種が知られている、たいへん種数が多い科である。現在のところおおよそ 40 の亜科に分けられており、そのうち 34 亜科が日本から記録されている。亜科ごとに寄主と寄生方法が決まっているものが多いため、亜科までの同定ができれば、そのヒメバチのおおよその生態が推定できる。本講演では、日本から記録がある亜科の絵解き検索を示しつつ、より簡易な亜科同定の方法を解説する。

## 2. どうなっているヒアリ?—高まる定着の危機と対策法を学ぶ (11:00~12:20)

橋本 佳明 (兵庫県立大学/兵庫県立人と自然の博物館 環境省ヒアリ対策委員)

特定外来生物ヒアリは、その毒針による刺傷被害だけでなく、侵入地で農業や電子通信、観光業などに巨額の損害をもたらしている。我が国では、2017 年に兵庫県で、中国からのコンテナを介したヒアリ初侵入が確認されて以降、これまでに 16 都道府県 63 件の侵入事例が報告されており、その殆どが中国からの海上コンテナ貨物からの発見である。さらに、港湾コンテナヤードにおけるヒアリの営巣事例も 20 件以上も報告されており、巣内で次世代の女王 (新女王) も確認されている。翅をもつ新女王アリは 2 km から、風に乗れば 30 km ほど分散することが可能である。このままでは、港湾の後背に位置する都市圏でヒアリが定着し、甚大な被害をもたらすのは自明である。本講演では、ヒアリ国内侵入の現状と、その対策のため新たに開発や導入が進められている防除技術について報告する。

## 3. ネジレバネの多様性と生活史の特徴 (13:30~15:00)

中瀬 悠太 (信州大学)

ネジレバネ目 (撚翅目 Strepsiptera) は世界から約 600 種、日本からは約 50 種が知られる。比較的小さな分類群である。シミに寄生する原始的なシミネジレバネ科は最終的に宿主を殺して脱出する捕食寄生者だが、それ以外のはすべて昆虫の寄生者である。ネジレバネの雄は短命で雌は宿主を離れないため目につきにくく、調査などでも見逃されがちだろう。本講演では生態、分類とともに採集方法についても寄生された宿主の外観なども含めて具体的に紹介したい。

## 4. 環境 DNA 分析に基づく生物の分布調査・多様性調査 (15:10~16:40)

山本 哲史 (農研機構)

環境 DNA 分析は生物の分布確認や多様性の把握に用いられる新しい調査手法である。この手法では生物そのものを観測するのではなく、生物由来の DNA を分析することで生物の在・不在を判断する。低密度で観測困難な生物でも高い検出力を誇ることや、野外調査の大幅な省力化など、従来の調査手法に対するメリットは大きい。本公演では、環境 DNA 分析の基本的な調査・分析の過程を紹介し、本手法を用いた具体的な研究例を紹介する。

## 5. 質疑応答 (16:40~17:00)

## < 参 加 要 領 >

<参加費> 会 員：4, 000円 (個人会員・法人会員「維持会員・賛助会員」の  
企業及び団体に所属されている方)

非 会 員：8, 000円

学 生：2, 000円 (テキスト代)

<上記金額には何れもテキスト代・消費税含む。ただし、昼食代は含まず>

### <参加申込>

ファックス・郵便又はEメールでお申込み下さい。

定員になり次第締切ります。申込みの方には後日、受講票を送付いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインに変更となる場合があります。

### <申込み先及び問合せ先>

日本環境動物昆虫学会事務局

〒550-0005 大阪市西区西本町1-11-1 (本町セントラルハイツ 407)

TEL・FAX 06 (6535) 4684 e-mail [r.takagi@f2.dion.ne.jp](mailto:r.takagi@f2.dion.ne.jp)

<参加費振込先> 三菱UFJ銀行信濃橋支店 日本環境動物昆虫学会 普通 3508064